

主イエス様はまもなく地球に戻ります。2000年前に、されどまたが確きだ。戻信るきでれられた時に、この約束を本當にされど、それが確認され、主は地に戻った。戻信るきでれられた時（ヨハネ14:1-3）、しかしこうの最説後で、世の言葉をと照らし、現在合に主イエス様のりらるに、聖書を詳生きてこられるといふことをといふ。起きれば、キリスト様が戻ってこられるといふことが証明されるでしょう。

1 宮の破壊

イエスが宮から出て行こうとしておられるとき、弟子たちが近寄ってきて、ひと建物にイエスの注意を促した。ひと建物が言つた。「先生、ござらんなどな建物でしょ。」そこでイエスは彼らにむかって言われた。「あなたは、これで大きな建物をながめているのか。よく言つておく。その石一つでもくずされに、他の石の上に残ることのなくなる日が来るであろう。」（マタイ24:1-2、マルコ13:1-2、ルカ21:5-6）これは、紀元前70年に言葉通りに実現しました。

2 主がおいでになる前兆

またオリーブ山で、イエスが宮にむかってすわっておられるとき、ペテロ、ヤコブ、ヨハネ、アンデレが、ひそかにお尋ねした。「わたしたちにお話しください。いつ、そんなことが起るのでしょうか。また、そんなことがことごとく成就し、あなたがおいでになる時や、世の終りには、どんな前兆がありますか。」（マタイ24:3、マルコ13:3-4、ルカ21:7）

3 感わす者が現れる

そこでイエスは答えて言われた。「あなたは、人に惑わされないよう気をつけなさい。多くの者がわたしの名を名のって現れ、自分がキリストだとか、時が近づいたとか言って、多くの人を惑わすであろう。彼らについて行くな。」（マタイ24:4-5、マルコ13:5-6、ルカ21:8）

4 戦争とその噂
戦争と騒乱のうわさとを聞くであらう。注意していなさい、おじ恐れあわてはいけない。それは起らねばならないが、終りはすぐにはこない。（マタイ24:6、マルコ13:7、ルカ21:9）

5 民族戦争/地震/飢饉/疫病
それから彼らに言われた。「民は民に、国は国に敵対して立ち上がるであらう。またあちこちで大地震があり、疫病やきんが起り、いろいろ恐ろしい物すごい前兆があるであらう。（マタイ24:7、マルコ13:8、ルカ21:10-11）

6 しかし、すべてこれらは産みの苦しみの初めである。」（マタイ24:8、マルコ13:8）

7 クリスチャンへの迫害
しかし、あなたがたは自分で気をつけていなさい。これはあなたがたを苦しめた迫害を前に、人々あなたがたを苦にあわせ、わたし殺すであらう。衆議院に引寄せられたは、わざされ、ちや王たる。たき総督やあるが対するが彼らに對してあらう。（マタイ24:9、マルコ13:9、ルカ21:12-13）

8 そして、人々があなたがたを連れて行って引きわたすとき、何を言おうか、どう答弁しようかと、前もつ決めなさして、考えておかないと心を決めなさい。その場合、自分に示されることは語るがよい。語る者はあなたがた自身ではなくて、聖霊である。あなたがたの反対者のだれもが抗弁もできないような言葉と知恵とを、わたしが授けるから。（マルコ13:11、ルカ21:14-15）

9 家族内の裏切り
そのとき、多くの人がつまずき、人々はあなたがたを苦しみにあわせ、また

殺すであろう。また兄弟は兄弟を、父は子を、親族、友人親友に逆らって立ちはだかる。殺されるものすべての人々に憎悪の毛一絲でも耐え忍ぶことによつて、自分の魂をつかまつ取つて救われるであろう。（マタイ24:9-10、マルコ13:12-13、ルカ21:16-19）

10 愛が冷える
また不法がはびこるので、多くの人の愛が冷えるであろう。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。（マタイ24:12-13）

11 そしてこの御國の福音は、まずすべての民に対してあかしをするために、全世界に宣べ伝えられるであろう。そしてそれから最後が来るのである。（マタイ24:14、マルコ13:10）

12 荒らす憎むべき者がエルサレムに
エルサレムが軍隊に包囲されるのを見たならば、そのときは、その滅亡が近づいたとさとりなさい。（ルカ21:20）預言者ダニエルによつて言われた荒らす憎むべき者が、聖なる場所に、立つてはならぬ所に立つのを見たならば（読者よ、悟れ）、そのときは、ユダヤにいる人々は山へ逃げよ。屋上にいる者は、自分の持ち物が家の中になつても、取り出そうとして下におりて、内にはいるな。畠にいる者も同じように、上着を取りにあとへもどるな。市中にいる者は、そこから出て行くがよい。また、いなかにいる者は市内にはいってはいけない。（マタイ24:15-18、マルコ13:14-16、ルカ17:31、21:21）その日には、身重の女と乳飲み子をもつ女は、不幸である。あなたがたが逃げるのが、冬または安息日にならないように祈れ。（マタイ24:19-20、マルコ13:17-18、ルカ21:23）

彼らはつるぎの刃に倒れ、また捕えられて諸国へ引きゆかれるであろう。そしてエルサレムは、異邦人の時期が満ちるまで、彼らに踏みにじられているであろう。（ルカ21:24）

13 ヤコブの災いの時（エレミヤ30:6-7）
その日には、神が万物を造られた創造の初めから現在に至るまで、かつてからでないよう大きな患難が起るからである。もし主がその期間を縮めてくださらないなら、救われる者はひとりもない。しかし、選ばれた選民のために、その期間は縮められるであろう。（マタイ24:21-22、マルコ13:19-20、ルカ21:23）それは、聖書にしるされたすべての事が実現する刑罰の日であるからだ。（ルカ21:22）

14 偽キリストと偽預言者

そのとき、だれかがあなたがたに「見よ、ここにキリストがいる」と言つて、それを信じるな。にせキリストたちや、にせ預言者たちが起つて、大いなるしと奇跡を行ひ、できれば、選民をも惑わそうとするであろう。だから、気をつけていなさい。いつさいの事を、あなたがたに前もつて言つておく。（マタイ24:23-24、マルコ13:21-23）だから、人々があなたがたに、「見よ、彼はあそこの荒野にいる」と言つても、出て行くな。また「見よ、へやの中にいる」と言つても、信じてそちらへ行くな、彼らのあとを追うな。ようど、いなずまが天の端からひかり出て、天の端へとひらめき渡るように、東から西にひらめき渡るように、人の子もその日には同じように現れるであろう。（マタイ24:26-27、マルコ17:23-24）

15 天にしるしが現れる

しかし、この起る患難の後、その日には、たちまち日は暗く、月はその光を放つことをやめ、星は空しがら落ち、天体は揺動かされ、現れるであろう。（マタイ24:29、13:24-25、ルカ21:25）そして、地とどうくにおじ悪い、人々は世界に起る



する事を思い、恐怖と不安で気絶するであろう。もろもろの天体が揺り動かされるからである。（ルカ21:25-26）

16 そのとき、人の子のしるしが天に現れるであろう。またそのとき、地のすべての民族は嘆き、そして大いなる力と大いなる栄光とをもって、人の子が天の雲に乗って来るのを、人々は見るであろう。またそのとき、彼は大いなるラッパの音と共に御使たちをつかわして、地のはてから天のはてからはてに至るまで、四方からその選民を呼び集めるであろう。（マタイ24:30-31、マルコ13:26-27、ルカ21:27）

17 これらの事が起りはじめたら、身を起し頭をもたげなさい。あなたがたの救いが近づいているのだから。（ルカ21:28）

18 それから一つの譬を話された。「いちらじくの木を、またすべての木を見て学びなさい。その枝が柔らかに葉や芽を出せば、あなたがたはそれを見つけて、夏がすこし近いと自分が見て、この事が起るのを見たなら、神の国が近くで、人の子が戸口まで近づいていると知りなさい（マタイ24:32-33、マルコ13:28-29、ルカ21:29-31）」その日、その時は、だれも知らない。天にいる御使たちも、また子も知らない、ただ父だけが知つておられる。（マタイ24:36、マルコ13:32）

19 そして、人の子が現れるときも、ちょうどノアの時にあったように、同様なことが起るであろう。すなわち、洪水の出る前、ノアが箱舟にはいる日まで、人々は食い、飲み、めどり、とつぎなどしていたが、そこへ洪水が襲ってきて、いつさいのものをさらつて行くまで、彼らは気がつかないままごとく滅ぼされた（マタイ24:37-39、ルカ17:26-27）

20 ロトの時にも同じようなことが起った。人々は食い、飲み、買い、売り、植え、建てなどしていたが、ロトがゾドムから出て行った日に、天から火と硫黄

とが降ってきて、彼らをことごとく滅ぼした。人の子が現れる日も、ちょうどそれと同様であろう（ルカ17:28-30）

21 ロトの妻のことを思い出しなさい。自分の命を救おうとするものは、それを失い、それを失うものは、保つのである。（ルカ17:32-33）

22 あなたがたに言っておく。その夜、ふたりの男が一つ寝床にいる。他の女がりとりは残されるであろう。ふたば、ひがりと一緒にうすをひいているならば、残され、ひかれは取り去られ、他の男が烟におれば、ひとりは取り去られ、他のひとりは残され、され、ひとりは取り去られ、他のひとりは残される。ふたりの男が煙におれば、ひとりは取り去られ、他のひとりは残される。ふたりの男が煙におれば、ひとりは取り去られ、他のひとりは残される。（マタイ24:40-41、17:34-36）弟子たちは「主よ、それはどこであるのですか。」と尋ねた。するとイエスは言われた。「死体のある所には、まではげたかが集まるものである。」（マタイ24:28、ルカ17:37）

23 目をさましておれ、祈れ
それはちょうど、旅に立つ人が家を出るに当り、その家の人たちに、それぞれ仕事を割り当てて責任をもたせ、門番には目をさましておれと命じるようなものである。だから、目をさましていないさい。いつ、家の主人が帰つて来るのか、夕方か、夜中か、にわとりの鳴くころか、明け方か、わからないからである。あるいは急に帰つてきて、あなたがたの眠っているところを見つけるかもしれない。（マルコ13:34-36）

24 このことをわきまえているがよい。家の主人は、盗賊がいつごろ来るかわかっているなら、目をさまして、自分の家に押し入ることを許さないであろう。だから、あなたがたも用意をしていなさい。思いがけない時に人の子が来るからである。（マタイ24:43-44）

25 気をつけて、目をさましていなさい。その時がいつであるか、あなたが

たにはわからないからである。あなたがたが放縱や、泥酔や、世の煩いのためにうちが鈍っているうちに、思うがけないあなたがたを捕えるさい。その日は地の全面に住むすべての人に臨むのであるから。（マタイ13:33、ルカ21:34-35）

26 これらの起ろうとしているすべての事からのがれて、人の子の前に立つことができるよう、絶えず目をさまして祈っていなさい。（ルカ21:36）

27 よく聞いておきなさい。これらの事がことごとく起るまでは、この時代は滅びることがない。天地は滅びるであろう。しかしあたしの言葉は決して滅びることがない。（マタイ24:34-35、マルコ13:30-31、ルカ21:32-33）

誉の座についた、偉大なる王、イエスキリスト様はもう間も無く、聖なる天使や聖者と共に大いなる力と栄光でもどつてこられます。

神をおそれ、神に栄光を歸せよ。
神のさばきの時がきたからである。天と地と海と水の源とを造られたかたを、伏し拝め。
(黙示録14:7)

時はもはやこれ以上
待ってくれません！

天の国はもう近づきました。悔い改めて、この福音を信じなさい。

あなたの神である主に
出会う準備を整えなさい！



神の国の福音書